記者発表資料

平成２２年１２月１７日
湯沢河川国道事務所

国道１３号 神宮寺バイパスの開通で混雑解消、救急搬送の時間短縮、バスの定時性確保、通学の安全性向上

平成２２年１１月３日（水）に国道１３号神宮寺バイパス（大仙市神宮寺字大坪～北楢岡字高花）延長約２．２ｋｍ区間が開通し、既に開通している区間とあわせてバイパス区間７．２ｋｍが通行できるようになりました。

開通後の交通状況調査の結果、現国道１３号の混雑が解消していることが確認されました。また、ヒアリング調査の結果、救急搬送の時間短縮、路線バスの定時性確保、通学の安全性が向上していることも確認されましたのでお知らせします。

国土交通省　湯沢河川国道事務所では、神宮寺バイパスの開通前後の効果を把握するため、消防本部、バス事業者、学校にヒアリング調査を実施しました。

■ 救急搬送の時間短縮、路線バスの定時性確保、通学の安全性向上が確認されました。

【救急搬送】バイパスの利用により、搬送時間が短縮されました。
（大曲仙北広域市町村圏組合消防本部）
【バスの運行】路線バスの定時性が確保されました。
（羽後交通(株)大曲自動車営業所）
【通学】現国道の交通量が減少し、安全性が向上していると思います。
（平和中学校、北神小学校）

※H22.12 ヒアリング調査結果より

■一方、現道の車が少なくなったことによる不安の意見もありました。

・現国道を走行する車のスピードが速くなったので、今後注意が必要だと思います。
（神宮寺小学校、北神小学校）
・車が少なくなって人目が少なくなったため、防犯の面で心配されます。
（北神小学校）

※H22.12 ヒアリング調査結果より

※ 詳細については別添を参照してください。

発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社湯沢支局・大曲支局、秋田建設新報社、秋田建設工業新聞、建設新聞社、秋田民報、秋田県南日々新聞

【お問い合わせ先】 国土交通省　東北地方整備局　湯沢河川国道事務所
TEL 0183-73-5559　FAX 0183-72-2488
副所長(技術)　佐藤（さとう） 利美（としみ）（内線205）
調査第二課長　鈴木（すずき） 恵吉（けいきち）（内線451）

開通1ヶ月後

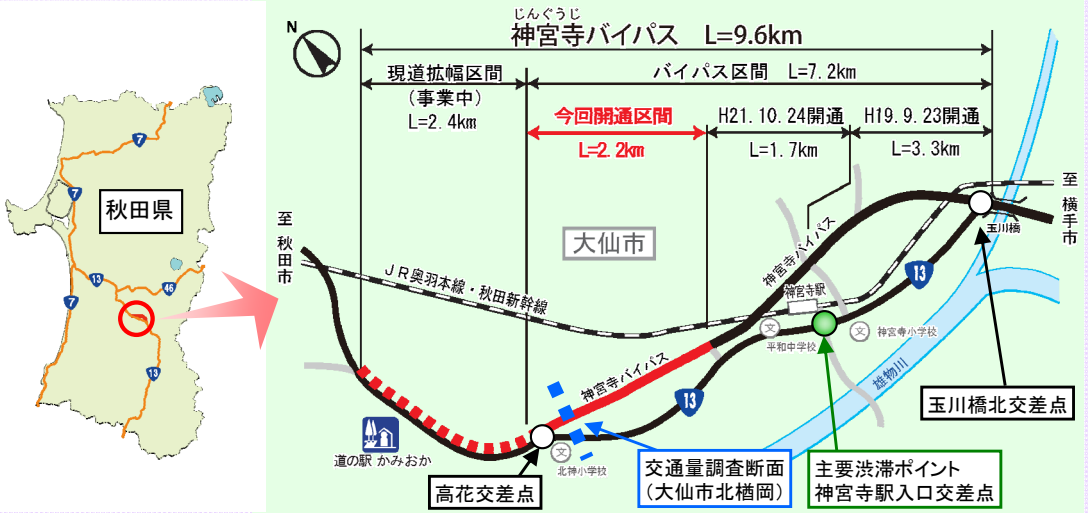
一般国道13号

神宮寺バイパスが開通して

（平成22年11月3日開通）

別添資料

①国道13号の混雑解消,安全性向上
②救急搬送の時間短縮,バスの定時性確保





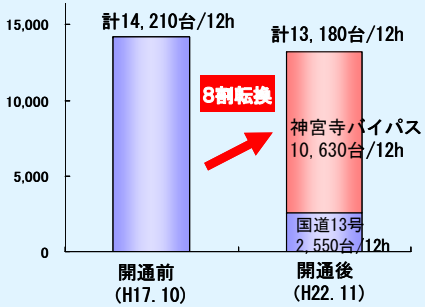
▼バイパス開通前の国道13号（現道）



▼バイパス開通後の国道13号（現道）



○現国道13号の交通量の8割がバイパスに転換



○神宮寺駅入口交差点の混雑が解消

開通前	開通後
渋滞長：1,000m 通過時間：6分	渋滞長：50m 通過時間：1分

【調査日】開通前：H14.11、開通後：H22.11
※渋滞方向：秋田市側から横手市方向

○通過時間が約5分短縮

（高花交差点～玉川橋北交差点）

開通前	開通後
13分	8.4分

【調査日】開通前：H17.10、開通後：H22.11

○救急搬送の時間短縮,バスの定時性確保,通学の安全性向上

【救急搬送】 バイパスの利用により、搬送時間が短縮されました。
（大曲仙北広域市町村圏組合消防本部）

【バスの運行】 現国道の路線バスの定時性が確保されました。
（羽後交通(株)大曲自動車営業所）

【通学】 現国道の交通量が減少し、安全性が向上していると思います。
（平和中学校、北神小学校）

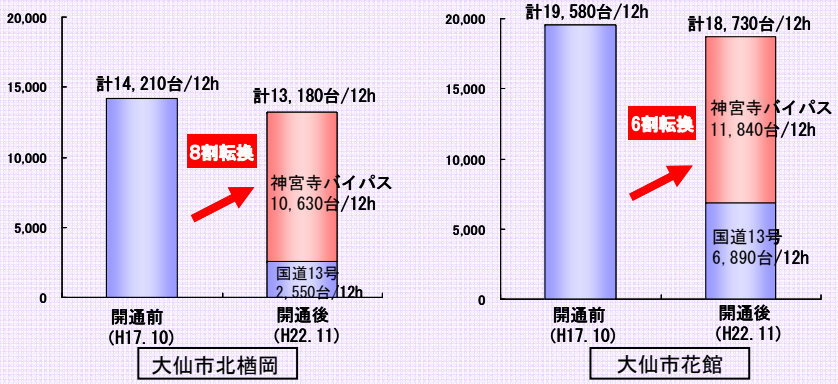
【出典】H22.12ヒアリング調査結果より

- 事業期間　：　平成10年度～
- 延長　：　9.6km（うちバイパス区間7.2km開通済）
- 幅員　：　14.5m（暫定2車線）

参考資料

①バイパスへの交通転換により現国道13号の混雑が解消

○現国道13号の交通の6～8割がバイパスに転換



○交通量の転換により、主要渋滞交差点の混雑が解消

神宮寺駅入口交差点

○バイパス開通前	○バイパス開通後
渋滞長：1，000m 通過時間：6分	渋滞長：50m 通過時間：1分

玉川橋北交差点

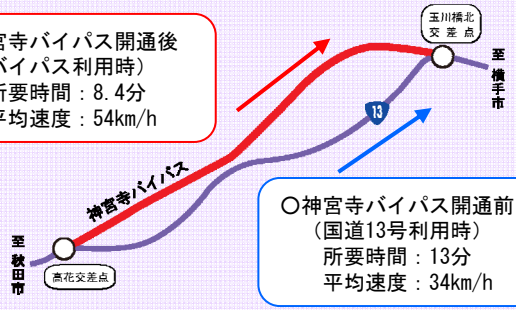
○バイパス開通前	○バイパス開通後
渋滞長：800m 通過時間：3分	渋滞長：150m 通過時間：2分

【調査日】開通前：H14.11、開通後：H22.11 【調査時間】ピーク時の7時～9時の2時間

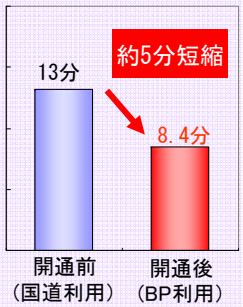
②バイパスの利用により、所要時間が短縮

○高花交差点～玉川橋北交差点の所要時間が約5分短縮

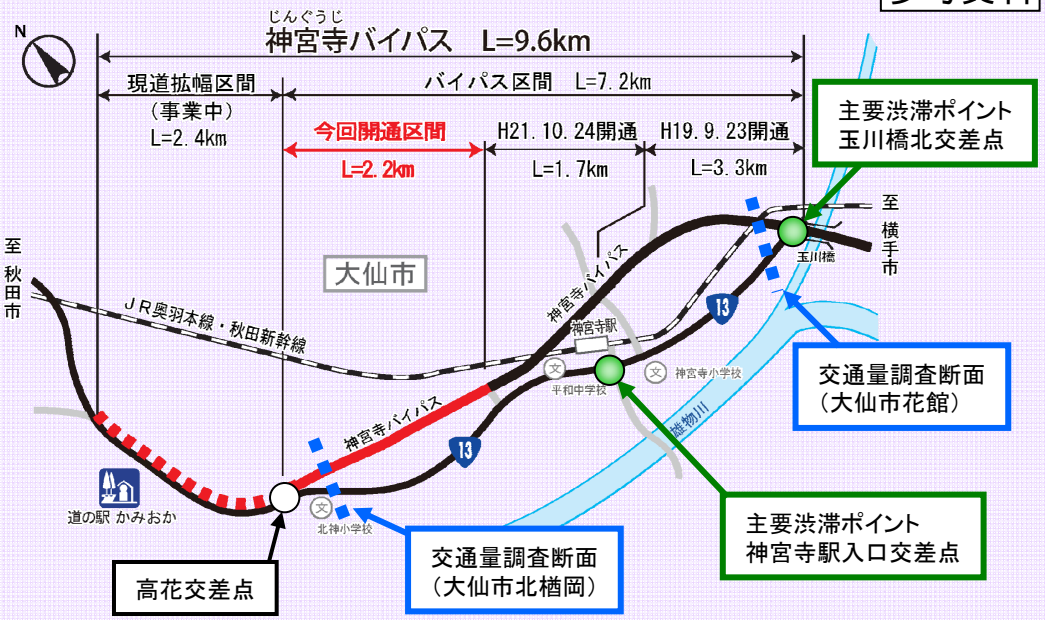
○神宮寺バイパス開通後
（バイパス利用時）
所要時間：8.4分
平均速度：54km/h



○神宮寺バイパス開通前
（国道13号利用時）
所要時間：13分
平均速度：34km/h



【調査日】開通前：H17.10、開通後：H22.11 【調査時間】ピーク時の7時台



③救急搬送の時間短縮、バスの定時性確保、通学の安全性向上

【救急搬送】
・バイパスの利用により、搬送時間が短縮されました。
・現国道の交通量が減少し、神宮寺市街地を通過する搬送の安全性が向上、搬送時間も短縮されました。
・バイパスの線形・路面状況も良く、患者さんへの負担も軽減されています。
（大曲仙北広域市町村圏組合消防本部）

【バスの運行】
・現国道の路線バスの定時性が確保されました。
・バス停に停車していても、後続車が容易に追い越しできるため、運転手の心理的負担が軽減されました。
（羽後交通(株)大曲自動車営業所）

【通勤・通学】
・現国道の交通量が減少し、安全性が向上していると思います。（平和中学校、北神小学校）
・車が減って静かになり、授業が行いやすくなりました。（北神小学校）
・学校への通勤・送迎の車の出入りが容易になりました。（北神小学校、神宮寺小学校）
・現国道を走行する車のスピードが速くなったので、今後注意が必要だと思います。
（神宮寺小学校、北神小学校）
・車が少なくなって人目が少なくなったため、防犯の面で心配されます。（北神小学校）

【出典】H22. 12ヒアリング調査結果より